

宮城県考古学会連絡紙

第61号

2014年10月18日発行

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

東北大学大学院文学研究科考古学研究室気付 宮城県考古学会事務局

2014年度 宮城県考古学会総会・研究発表会報告

5月11日(日)に、東北歴史博物館において、2014年度宮城県考古学会総会・研究発表会を以下の日程で開催しました。

★総会 10:00～10:50

辻秀人会長から開会の挨拶があり、つづいて議長団の選出により議長に荒井格氏、副議長に芳賀英実氏、書記に二瓶雅司氏が選出され、5件の議事が行われました。

議案第1号 2013年度の事業報告について

議案第2号 2013年度収支決算報告(案)

議案第3号 2014年度の事業計画(案)について

議案第4号 2014年度収支予算(案)

議案第5号 役員改選(案)について

以上の各議案について担当幹事から説明があり、審議の結果、議案第1号から第5号まで承認されました。

★研究発表会 10:00～10:50

特集1『宮城県における津波・地震痕跡の考古学的調査2-新たな調査事例から-』

事例報告1「仙台市荒井広瀬遺跡」 仙台市教育委員会

事例報告2「岩沼市高大瀬遺跡」 岩沼市教育委員会

事例報告3「山元町中筋遺跡」 山元町教育委員会

特集2『被災3年を経た文化財をめぐる現状と課題』

「被災3年を経た岩手県の文化財をめぐる現状と課題」

岩手県考古学会 熊谷常正

「被災3年を経た宮城県の文化財をめぐる現状と課題」

宮城県考古学会東日本大震災対策特別委員会 藤沢敦

「被災3年を経た福島県の文化財をめぐる現状と課題」

福島県考古学会 玉川一郎

※以上、6件の報告を行い、参加者は延べ150名あった。

2014年度事業計画

1. 2014年度総会・研究発表会 5月11日(日)

会場:東北歴史博物館 講堂

共催:宮城県教育委員会、多賀城市教育委員会、宮城県史跡整備市町村協議会(研究発表会のみ)

総会:2013年度の事業報告ならびに決算、2014年度の事業計画・予算案、役員改選

研究発表:特集2件(報告6件)

2. 宮城県遺跡調査成果発表会

日時:12月13日(土) 10:00～16:10(受付9:30～)

会場:東北歴史博物館 講堂

共催:宮城県教育委員会、多賀城市教育委員会、宮城県史跡整備市町村協議会

※仙台城跡や復興関連調査の状況などの発表を10遺跡程度予定しています。さらに、資料発表として10遺跡程度を予定しています。

また、会終了後には懇親会(17:30頃開始)を予定しています。奮ってご参加いただきますよう、お願いいたします。

3. 会誌『宮城考古学第16号』の発行と『宮城考古学第17号』編集作成

4. 連絡紙の発行 年3回を予定

5. ホームページの運営

6. 役員会の開催

代表幹事会・役員会 年6回程度を予定

各幹事会は必要に応じて随時開催

東日本大震災対策特別委員会は必要に応じて随時開催

7. 後援等の実施

8. 研究部会の活動への支援

旧石器部会、縄文部会、古墳・古代研究部会、阿武隈水系部会、中世考古学部会

※各部会の開催情報については本会 Web サイトに掲載しています。

2014年度 宮城県考古学会役員名簿

2014年度は宮城県考古学会の役員改選時期になっております。第8期(2014・2015年度)の役員・代表幹事の名簿をお知らせいたします。

会長:田中 則和(東北大学埋蔵文化財調査室)

副会長:藤沢 敦(東北大学埋蔵文化財調査室)

幹事長:長島 榮一(仙台市教育委員会文化財課)

(総務)

代表幹事:鹿又 喜隆(東北大学大学院文学研究科考古学研究室)

及川 謙作(仙台市教育委員会文化財課)

庄子 裕美(仙台市教育委員会文化財課)

(企画)

代表幹事:福山 宗志(涌谷町教育委員会)

茂木 好光(佐沼高等学校)
森田 義史(松島町教育委員会)
佐藤 優(大崎市教育委員会文化財課)
古田 和誠(女川町教育委員会)
佐藤 洋一(蔵王町教育委員会)
佐藤 秀一(角田市教育委員会)

〈会誌〉

代表幹事: 村田 晃一(宮城県教育委員会)
熊谷 篤(岩沼市役所商工観光課)
傳田 恵隆(宮城県教育委員会)
小野寺智哉(登米市歴史博物館)

〈連絡紙〉

代表幹事: 柳澤 和明(東北歴史博物館学芸部)
鈴木 朋子(亶理町教育委員会)
関根 章義(仙台市教育委員会)
田村 正樹(七ヶ浜町教育委員会
七ヶ浜町歴史資料館)
中野 祐平(石巻市教育委員会生涯学習課)
小泉 博明(仙台市教育委員会文化財課)
廣谷 和也(宮城県多賀城跡調査研究所)

〈監事〉

高橋 守克(多賀城市教育委員会文化財課)
太田 昭夫(名取市教育委員会)

博物館展覧会情報

特別巡回展

「みやぎの古瓦-奈良国立博物館所蔵内藤政恒コレクション-」

【涌谷町天平ろまん館】

会 期 平成 26 年 10 月 4 日(土)~11 月 30 日(日)

開館時間 9:30~17:00 休館日 期間中無休

観覧料金 一般 500 円、小中高校生 200 円

【色麻町農業伝習館資料展示室】

会 期 前期 平成 26 年 12 月 6 日(土)~12 月 23 日(火)

後期 平成 27 年 3 月 1 日(日)~ 3 月 29 日(日)

開館時間 10:00~16:00

休館日 月曜日(祝祭日を除く)・祝祭日の翌日

観覧料金 一般 200 円、高校・大学生 100 円、中学生以下無料

宮城県考古学会役員会からのお知らせ

宮城県考古学会役員会では、現在『災害の考古学—震災を越えて(仮称)』刊行特別委員会の発足について検討されています。その概要について会員の皆様にお知らせいたします。

1. 目的

東日本大震災を契機に、宮城県の自然災害に関わる各時代の研究成果及び文化財レスキューの記録などを集約し、わかりやすい形で一般に提供(販売)することを目的とする。

2. 内容

①自然災害の考古学的調査研究の成果、②文化財レスキューの記録

3. 刊行期日

震災発生から 5 年目(2016. 3. 11)の刊行を目指す。

4. メンバー

委員長は委員の互選で決定し、委員は一般への分かりやすさを達成するため、教員経験者を起用する。

また、教員経験者 4 名に加えて、東日本大震災特別委員会から 2 名、総務・企画・会誌・連絡紙幹事会から各 1 名を選出し、計 10 名程度の人数とする。

5. 今後のスケジュール(予定)

12 月 13 日(遺跡調査成果発表会)準備会結成の経緯と報告
平成 27 年 1 月 準備会の結成、活動開始

5 月 総会で議決を図り、刊行特別委員会発足

会誌「宮城考古学」への投稿案内:原稿募集中です!

会誌『宮城考古学』第 17 号(2015 年 5 月発行予定)への投稿を募集しています。

投稿は事務局からの依頼原稿を除き、原則として宮城県考古学会会員に限ります。共著の場合は著者のうち 1 人は宮城県考古学会会員であることを条件とします。

原稿締め切りは 2015 年 1 月 31 日です。投稿希望の方は 2014 年 11 月 30 日までに、予定ページ数や概要などを下記のアドレスまでお知らせください。現行の採否は翌年 2 月末までに執筆者に連絡します。原稿多数の場合、次回掲載となることもありますので、ご了承ください。

〈書式について〉

①A4 版横組(縦 297mm×横 210mm)。版面は縦 233mm×148mm。

②本文は 10.5 ポイント・明朝体で横書き・45 字×35 行。註・引用文献は 9 ポイント・明朝体で横書き・47 字×48 行。ヘッダやフッタなどは記載しないでください

③論文:本文、挿図、写真、表などを含め、18 頁以内。

④研究ノート:試論、予察、着想などの短論文。12 頁以内。

⑤報告・速報:注目される発掘調査の報告や測量調査など。8 頁以内。

⑥資料紹介:8 頁以内。

⑦抜刷部数は最大 100 部(進呈 30 部を含む)。

〈連絡先〉宮城県考古学会会誌幹事会 代表 村田 晃一

※個人情報につき連絡先削除

情報・寄稿などをお寄せ下さい!!

考古学に関する情報や寄稿、会員通信等をお寄せ下さい。また、連絡紙の愛称や内容、取り上げて欲しいこと、提言などご意見ご要望もお待ちしております。

本会 Web サイト(<http://www.m-kouko.net/>)では、本会連絡紙のほか、お寄せいただいた情報を随時掲載いたしております。発掘調査情報、学会、イベントなど考古学に関する情報をお寄せください。

〈連絡先〉柳澤和明(連絡紙代表幹事)

E-mail: info@m-kouko.net(宮城県考古学会)